

## シンポジウム「沖縄の結縄ワラザン～日本最後の結縄文化～」開催のお知らせ

### 1. 開催情報

開催日：2025年3月30日(日) 13:00~17:00

開催場所：琉球大学農学部・オンライン(ZOOM)

参加費無料・事前申込制（申込期間：3/4(火)~3/25(火)）

プログラム

【講演】 13:00~15:15 農学部大講義室

- ・「田代安定と藁算」 国立民族博物館 野林厚志 教授
- ・「ワラザンが使われた社会的背景」 琉球大学 豊見山 和行 名誉教授
- ・「沖縄の結縄文化～藁算とサン～」 琉球大学博物館(風樹館) 佐々木健志 助教

【ワラザン作りワークショップ】 15:20~17:00 農学部中講義室

内容：比較的簡単な藁算を作成し、藁算の基本的な読み方と作成方法を学ぶ

### 2. 企画展（同時開催）

開催日時：2025年3月20日(木)~4月11日(金) 10:00~16:00(平日のみ)

開催会場：琉球大学博物館(風樹館) 1階文化系展示室

- 展示内容：・国立民族博物館所蔵 田代安定藁算原標本（約20点）
- ・琉球大学博物館所蔵 藁算 原資料（10点）及び復元資料（約30点）
  - ・琉球大学博物館所蔵 結縄関連サン資料（約30点）

### 3. 目的・背景

風樹館では20年以上にわたって、沖縄の結縄文化の研究を行ってきた。令和5年度からは「国立民族学博物館公募型共創メディア展示プロジェクト」に採択され、「沖縄の結縄（藁算）標本のマルチメディア展示アーカイブズの構築と大学博物館での研究教育活用」に取り組んできた。本プロジェクトの成果の一つとして、国立民族学博物館が収蔵する明治期に田代安定が沖縄で収集した貴重な藁算標本の藁算データベースを日本で初めて構築することができた。この度、本プロジェクトの完了に伴い、藁算データベースとこれまでの研究成果を広く沖縄県民等へ還元することを目的に、シンポジウムと藁算原資料による企画展を開催する。

### 4. 補足

<藁算（ワラザン）>

琉球王府時代から明治中期まで、文字を使えない人たちが使用してきた記録と伝達のための民具。主に藁を用いて作られ、藁茎の本数や長短、結び目の数などを組み合わせて数量を記録した結縄。かつてはアイヌ民族や日本本土でも結縄が使用されていたが、現在でも結縄文化が残るのは沖縄だけである。

<田代安定>

戦前の藁算研究の第一人者。明治期に沖縄県の藁算や民俗等の調査を行った。このとき、収集した明治期の藁算標本（260点）が国立民俗学博物館に保存されている。



シンポジウム・企画展

# 沖縄の結縄 ワラザン

～日本最後の結縄文化～

2025年3月30日(日)

## 講演 (対面・オンライン)

13:00～15:15 琉球大学農学部大講義室

「田代安定と藁算」

国立民族博物館 野林 厚志 教授

「ワラザンが使われた社会的背景」

琉球大学 豊見山 和行 名誉教授

「沖縄の結縄文化～藁算とサン～」

琉球大学博物館(風樹館) 佐々木 健志 助教

## ワラザン作り体験

15:20～17:00 琉球大学農学部中講義室

## 申込み (参加無料)

URLまたはQRコードより  
お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/Qt8q0VZcM5>

申込〆切：3/25(火)17:00まで



## 同時開催 企画展

3月20日(木)～4月11日(金)

琉球大学博物館(風樹館)

問合せ 琉球大学博物館(風樹館)

098-895-8841 [fujukan@fujukan.skr.u-ryuk.ac.jp](mailto:fujukan@fujukan.skr.u-ryuk.ac.jp)

シンポジウム・企画展

# 沖縄の結繩 ワラザン

～日本最後の結繩文化～

2025年3月30日(日)

## 講演 (対面・オンライン)

13:00～15:15 琉球大学農学部大講義室

### 「田代安定と藁算」

国立民族博物館 野林 厚志 教授

### 「沖縄の藁算とサン」

琉球大学博物館(風樹館) 佐々木 健志 助教

### 「藁算が使用された背景」

琉球大学 豊見山 和行 名誉教授



## ワラザン作り体験

15:20～17:00 琉球大学農学部中講義室



## 申込み (参加無料)

URLまたはQRコードより  
お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/Qt8q0VZcM5>

申込〆切：3/25(火)17:00まで



## 同時開催 企画展

3月20日(木)～4月11日(金)

琉球大学博物館(風樹館)

※国立民族博物館所蔵資料も展示します

## 問合せ

琉球大学博物館(風樹館)

fujukan@fujukan.skr.u-ryuk.ac.jp

098-895-8841

藁算(ワラザン)は、文字を使えない人たちが使用してきた記録と伝達のための民具。主に藁を用いて作られ、藁茎の本数や長短、結び目の数などを組み合わせて数量を記録した結繩です。これまでに佐々木先生が取り組んできた調査の紹介や国立民族博物館所蔵資料の里帰り展を行います。

